

伊総第 472 号
平成 26 年 8 月 26 日

伊賀市議会議長 田山 宏弥 様

伊賀市長 岡 本 栄

文書質問の回答について

平成 26 年 7 月 18 日付け 26 伊議第 323 号で要求がありました文書質問について、次のとおり回答します。

平成 26 年 8 月 19 日

総務部長 様

大山田支所長

文書質問について

平成 26 年 7 月 18 日付け 26 伊議第 323 号で依頼のあった、公明党中谷議員からの文書質問の回答については次のとおりですのでよろしく申し上げます。

1 議員全員協議会（H26.7.15 開催）資料『大山田温泉福祉公社の経営改善の検証結果について』

(1) 部門別支出額について

【回答】

伊 賀 の 国 大 山 田 温 泉 部 門 別 純 利 益 額 一 覧 表							
区 分		温泉部門	物販部門	飲食部門	その他	共通部門	計
26 年	①売上高割引基準	▲ 9,388	▲ 10,542	▲ 16,489	937	▲ 70	▲ 35,552
	②売上総利益割引基準	▲ 11,585	▲ 6,228	▲ 18,606	937	▲70	▲ 35,552

詳細につきましては別紙（資料 1）です。

(2) 事業運営方針と収支経営見込みについて

【回答】

事業運営方針

① 新しい組織体制づくり

- イ) 効果的に即反応が出来得る体制
- ロ) 可能な限り系統化した布陣にする。

今後の計画

- ・部門別会議等、スタッフ会議の充実
- ・人用の効率化に向け、部門を越えた協力体制の構築

② 商品選定委員会設置

- ・商品選定委員会のメンバー 8名（内訳 職員5名、外部委員 3名）

・委員会開催回数 4月17日～7月24日までで 5回開催

・検討内容

1 売店販売商品の選定基準設定 (70社のうち53社選定済み)

① 美味しさ：実際に試食を行い、味の良し悪しの確認

② 安全性：添加物（保存料・着色料等）のっていない商品、原材料については国産のみの商品を取扱う。

③ 販売価格：同商品の他店での販売価格との比較を行い、適正な販売価格を設定する。

④ 魅力性：実際に自分自身が買いたい・食べたい商品であるかを検討し、魅力のある商品のみ取扱う。

2 現在の販売商品について検討

現在の仕入業者に参加いただき、自社商品について説明をしてもらった後、今後の取扱い継続について検討を行う。(現在継続検討中)

③ 館内の全ての賃貸契約物件の見直し検討

賃貸金額が妥当か、今から行うビジネスプランに基づいて敢行中

④ 売上げ低迷の打開策として、レストランの夜間営業を再開する。

平成26年度

平成25年度

7月19日(土)人数62人、売上81,850円	13日(土)人数144人、売上180,160円
20日(日)人数129人、売上176,000円	14日(日)人数183人、売上243,080円
21日(祝)人数126人、売上168,260円	15日(祝)人数143人、売上189,140円
26日(土)人数66人、売上102,680円	20日(土)人数118人、売上160,780円
27日(日)人数104人、売上147,800円	21日(日)人数222人、売上262,650円

夜間営業を再開し、昨年と比較検証を行う。

⑤ 以上の事を考え、伊賀市大山田支所の行政無線の活用を通じて、広報活動を従来以上に行う。

レストラン夜間営業再開案内を行政無線で周知する。

実施日 7月17日、18日、25日、 8月1日、13日、14日

収支経営見込み

平成27年3月期の見込み額は、税抜きの▲35,552千円で詳細は別紙(資料 2)のとおりです。

(3) 利用促進策について

「大山田温泉福祉公社の取組」

- ① 伊賀市市民センター38ヶ所を3カ月に一度訪問し、温泉のパンフレット及びカレンダーを渡し来訪を促進する。さるびのカレンダーを夏まつりにぎわいフェスタ会場に配置
12月1日久米地区市民センター、4月5日依那古桜まつり、5月25日丸柱田植え体験のイベントに足湯の持参。今後、シティーマラソンに持参予定
- ② 伊賀市老人クラブ連合会の6役員宅を年間2回訪問し、会員への周知を依頼する。3月に平成25年度役員、5月に平成26年度役員を訪問し、今後の行事を伺った。利用実績は、伊賀市内老人クラブが3月に利用あり、市内グランドゴルフ、ゲートボールの会の方が毎月2・3回利用ある。
- ③ 大山田地域の住民自治協議会、老人クラブ、大字区長宅を訪問し、常に情報の共有に努める。
また、「さるびのカレンダー」等のチラシ、無線放送を通じて地域住民の利用促進を推進する。
区長に「さるびのカレンダー」の各戸配布及び温泉利用をお願いした。自治協、区長の利用実績は、3月2回、5月1回あり、老人クラブは3月に2回あった。
- ④ 隣接している津市美里地区の自治協及び老人クラブの役員会に出席をして、来訪の依頼を行う。
4月18日住民自治協議会役員会に出席、4月22日老人クラブ役員会に出席してさるびの温泉利用をお願いした。利用実績は、2月に1回、6月に2回あった。また、津市内の老人クラブの利用が、今年1月から7月までに6回あった。
- ⑤ 亀山の社会福祉協議会を訪問し、パンフレットの説明も加えて資料を置く。
5月8日訪問し、利用をお願いした。利用実績は、3月に1回あった。
以上の団体等には、今後も引き続き利用促進を実施する。
- ⑥ 今期に入り団体契約として、上野印刷及び会員数2千人の三重猟友会の2団体と特別優待契約をする。
上野印刷1月10日契約締結、毎月10名程度の利用がある。
特別優待契約企業は36社です。
- ⑦ レストラン夜間営業再開とともに限定メニューを追加したことをチラシで周知する。
8月13日大山田地域、一部友生地区に新聞折り込により1,900枚を配布した。
行政無線放送による周知を大山田支所に依頼した。

今後も、チラシ、放送、新聞紙上等を活用したPRに取り組む。

- ⑧ リピーターを増加させるために会員制度を運用する。
11月26日から会員募集を実施し、会員特典をダイレクトメールで紹介する。目標
会員数3,000人

- ⑨ さるびの健康塾をシリーズ化して実施する。
第1弾 9月15日開催予定